

- ・ 睡眠医学を学ぶために 専門医の伝える実践睡眠医学 編集：立花直子 永井書店 2006 年 日本臨床睡眠医学会 Integrated Sleep Medicine Society Japan (ISMSJ) のメンバーが執筆した睡眠医学の実践書です。この本の「睡眠変数の意味とその解釈」を本クリニック医師 堀 有行が分担執筆しています。

- ・ 改訂版 臨床睡眠検査マニュアル 編集：日本睡眠学会編 ライフ・サイエンス 2015 年 日本睡眠学会が発行している睡眠検査のマニュアルです。この本の「PSG 所見の評価と報告書作成」を本クリニック医師 堀 有行が分担執筆しています。
- ・ 第3回脚がイライラします 自覚症状が診断基準である下肢静止不能症候群, 堀 有行, レジデントノート, 12:1998-2002, 2010 年
- ・ 「睡眠」を真に理解した「脳」のプライマリケア, 堀 有行, レジデントノート, 12:1594-1596, 2010 年
- ・ 神経疾患の睡眠の問題と対応策, 堀 有行, 臨床看護, 31:1789-1794, 2005 年
- ・ 催眠鎮静薬～いわゆる睡眠薬～, 堀 有行, 医薬ジャーナル, 36:29-32, 2000 年
- ・ Twin studies parasomnias, A.Hori, Sleep-Wake Disorders, K. Meier-Ewert and M. Okawa(Eds), Plenum, New York, Chapter 12, 115-123, 1998 年
- ・ Sleep disorder in a patient with chronic hypothermia and erythromelalgia., Ariyuki Hori, T.Arai, N.Okuda, K.Tsukada, H.Michishita, K.Furui, T.Negami, G.Hirose, The Japanese Journal of Psychiatry and Neurology, 45:937, 1991 年
- ・ Cerebral blood flow during nocturnal sleep : continuous monitoring by transcranial Doppler ultrasound, Ariyuki Hori, T.Kuboyama, T.Sato, G.Hirose, New Trends in Autonomic Nervous System Research(Yoshikawa M et al. eds), 388, 1991 年
- ・ Changes in cerebral blood flow during REM sleep, HORI Ariyuki, Sleep Research, 1991 年
- ・ 日中の眠気に対し methylphenidate が著効を示した筋緊張性ジストロフィーの 1 例, 堀 有行, 数川 悟, 中村一郎, (故) 遠藤正臣, 神経内科治療, 4:209-212, 1987 年 05 月
- ・ 睡眠紡錘波と身体指標, 堀 有行, 数川 悟, 遠藤正臣, 中村一郎, 脳と神経, 39:151-154, 1987 年
- ・ 第 1 夜効果(first night effect)について -双生児による検討-, 堀 有行, 数川 悟, 中村一郎, (故) 遠藤正臣, 脳波と筋電図, 15:42-48, 1987 年
- ・ Sleep spindles in twins, Ariyuki Hori, S.Kazukawa, M.Endo, M.Kurachi, Clinical Electroencephalography, 20:121-127, 1989 年
- ・ Sleep characteristics in twins, Ariyuki Hori, The Japanese Journal of Psychiatry and Neurology, 40:35-46, 1986 年